

ABU NO OTO

～アブノオト～

寄せては返す波、風に揺られる木々の「自然のオト」

人々の営みと活気に満ちた「暮らしのオト」

歴史・文化、祭りで高まる「脈のオト」

声をかけると必ず答えてくれる「人情のオト」

どこか懐かしく、そして新しい

『アブノオト』。





Spring

春

そよそよと優しく吹く風と共に、阿武町の春は訪れる。やわらかい光の中で、芽吹く草木、満開の桜。こいのぼりのはためく音が心地よく耳に響く。



Autumn

秋

肥沃な大地に、黄金色の稲穂が秋の日差しを受けきらきらと輝く。冬を目前に、命をつなぐ多くの作物が収穫され、自然の実りに感謝して味わい尽くす。

季節の音色

美しい海、豊かな緑に囲まれた阿武町。
四季の訪れは、季節の音色が教えてくれる。



梅雨明けと共に、紺碧の海・白砂の浜辺には多くの人が押し寄せる。航海の安全や豊漁を祈る数々の盛大な祭りや花火が、阿武町の夏に彩りを添える。

夏

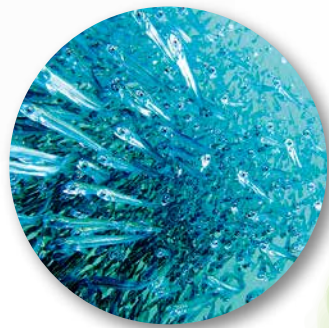
Summer



Winter

冬

寒くても、子どもたちは元気いっぱい。対照的に、新芽たちは雪の下で出番をじっと待っている。春はもうすぐそこ。やわらかい光の季節がまた巡ってくる。



暮らしの本音

個性的なUターン&Iターン者の方々に、
阿武町での暮らしにまつわる本音をインタビュー。

鍋倉旭のホンネ

人が元気でおもしろい。柔軟な考えとチャレンジを後押ししてくれる、器の大きさがありません。「自分たちの町は自分たちで守る」という使命感にあふれていて、誰でも地域の中心になれるまちだと思いますよ。



古民家を改装した「BARフジヤマ」は、新たなプレイヤー中村さん夫妻にパトタッチ。「阿武町ゲストハウス えのん」として生まれ変わる。



吉岡風詩乃のホンネ

町の人たちが大切に守り続けてきた美しい自然や風景がいたるところに息づいていて、心地よい時間が流れる町です。よく声をかけていただき、いつも気にかけて、見守られている安心感がありますね。



shiBanoでは、町民の「やってみたい」を持ちよって形にしてい、町民主体のワークショップが日々重ねられ、新たな企画が次々に誕生している。

イシダユキヒロのホンネ

阿武町はコンパクトシティ。食べものがおいしく、生活用品も車で5分走れば揃います。ネット環境があるので仕事にも不便はないですね。よそ者の私でも温かく迎えてくれる懐の深さも魅力です。



「ホビー工房asta*base」では、DIYやホビー製作スペースとして工具の貸し出しや各種パーツなども取り揃え、手ぶらでもモノづくりが楽しめる。



モノづくりの鼓動

豊かな自然の恵みを存分に生かした数々の産物からは、
地道なモノづくりの鼓動が聞こえてくる。



無角和牛

大自然の中でのびのびと育てられる角のない牛。柔らかい肉質と和牛独特の風味が特徴。国内肉用種の1%にも満たない貴重な肉牛。



日本酒

町内の棚田で収穫された山田錦と蔵の井戸水を使って仕込まれる、阿武の鶴酒造の日本酒。阿武町の自然と作り手の徹底したこだわりが光る一杯。



豆腐

町内で栽培された大豆を原料にした、豆乳のような濃さと甘さが自慢の豆腐。「地域のために」と奮起する、作り手たちの情熱が隠し味となっている。



道の駅阿武町

道の駅発祥の地で、新鮮な魚介類をはじめとした特産品が並ぶ。カフェや温泉、レストランも併設され、休息・交流・情報発信の場となっている。



魚介類

イカやアジ、サバ、ブリ類、サワラなど季節の鮮魚のほか、サザエ、ウニ、ワカメ、赤ナマコなど豊富な魚介類が水揚げされる。



スイカ

ミネラル塩を水に溶き、葉や土に散布して管理するという手間ひまのかかったミネラルスイカ。独特のシャリシャリ感と飽きのこない甘さが特徴。

1/4works プロジェクトとは？

基幹産業の第一次産業で季節ごと=1/4年ごとに発生する仕事を「1/4 works」と名づけ、人と仕事を結びつける。まちを支える仕事に触れ、感謝し、問題意識を共有する機会になることを目指している。





▲神子の舞



▲鶴ヶ嶺八幡宮

歴史の余韻

今もなお継承される歴史と伝統文化



▲大覚寺



▲復活した福賀・神楽舞

阿武町の歴史・文化の足音

火山活動によってできた肥沃な大地が高品質な農産物を生み、たたら製鉄も盛んだった阿武町では長い間多くの人々が暮らしてきた。また、戦国大名の尼子義久はこの地で生涯を終え、ゆかりのお寺や墓碑が今も残っている。毎年夏から秋に

かけては多くの祭りでのぎわい、昔ながらの阿武の街並みがひとときわ輝きを増す。今も残る歴史遺産とともに、人々がつむぎ、復活・継承してきた思いを込めた数々の伝統文化には、町民の情熱と誇りがあふれている。



▲福賀大農業まつり
農林産物や食材加工品の販売をはじめ、ゲームコーナーや早食い競争など多様な催しが行われ、1日を通して楽しめる。



▲宇田十七夜祭り
豊漁と航海の安全を祈願する管弦祭。二日間にわたって行われ、神輿が海中を渡るという、他の管弦祭では見られない光景。



▲日本海イカダ大会
中学生と一般の部に分かれた各チームが、それぞれ趣向を凝らした手作りのイカダに乗りこみ、スピードとアイデアを競う。



▲神輿と神子舞
まつりの2日目には、昔の面影が残る奈古の通りを神輿と神子舞が練り歩き、幸あれと願う人々の思いが一つに結ばれる。

打てば響く、 選ばれるまちへ

どこか懐かしさの残るまちで、呼応し共鳴し合う仲間とともに築き上げる、
これからの阿武町の未来

社会情勢が著しく変化中、個人の豊かさの尺度も多様化し、大きく変化してきました。今後は、阿武町が本来持つ豊かな特性や人、自然、文化などの資源を最大限に生かし、町民との対話を重視しながら、その意見がスピード感をもって町政に反映され

るまち、町民の誰もが夢や希望を持ち、明るく和やかに、それぞれ置かれた環境の中でいきいきと暮らしていけるまちになれるよう、他の自治体にはない、他の自治体に先駆けた“打てば響く”町民一人ひとりに寄り添うまちづくりを目指します。

将来像

夢と笑顔あふれる「豊かで住みよい文化の町」

基本理念

- 1: 自立と協働のまちづくり
- 2: 若者が定住しやすいまちづくり
- 3: 安全で安心なまちづくり
- 4: 町民が主役のまちづくり

施策の大綱





～アブノオト～

ABU NO OTO

阿武町町勢要覧2019【ダイジェスト版】

●発行／阿武町役場

●発行日／2019年3月

〒759-3622

山口県阿武郡阿武町大字奈古2636番地

TEL:(08388)2-3111

FAX:(08388)2-2090

<http://www.town.abu.lg.jp>